

都道府県名	佐賀県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	唐津市立第一中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	6	6	7	2	21	35
生徒数	224	234	265	2	725	

研究の概要

1. 研究主題

生徒が充実感・達成感を味わう授業の追求

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

全学年・英語
生徒の英語の学力の実態を踏まえ、長年研究を行ってきた実績をもとにさらに研究を深めるため

全学年・数学
入学時から生徒の理解に差が生じている教科のため

選択教科
少人数多コースの選択教科を実施することで、自分の特性を自覚し、自ら選択し、自ら学ぶ姿勢を獲得させたいので

全学年・英語・数学以外の教科や道徳・学級活動
生徒の集団づくりや学級づくりが、学力向上に寄与する部分が大いと思われるため

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 生徒が充実感・達成感を味わう授業の追求</p> <p>研究の見通し 本校が積み重ねてきた個に応じた指導法の研究実践を踏まえて、さらに研究授業を通して研究を推進していく。さらに、個々の実践を系統立てていくための方策を検討する。また、学力向上を分析するための方法を検討する。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 <ul style="list-style-type: none"> (1) 英語科における少人数・TT指導の充実 (2) 数学科におけるよりよい個に応じた指導法の構築（TT指導と少人数指導） (3) 学ぶ集団づくりを意識した取組 (4) 少人数多コースの選択教科を開設して、3年間を見通した選択を実施・検討 ・方法 <ul style="list-style-type: none"> (1)(2)は、授業実践を軸とした研究をする。 (3)は、個々の授業実践を積み重ね、職員間の共有化を図るとともに、来年度の実践計画を作成する。 (4)は、アンケートを実施し、検討を行う。
--------	--

平成 16 年度	<p>テーマ 生徒が充実感・達成感を味わう授業の追求 - 生徒の表現力向上の取組を通して -</p> <p>研究の見通し 前年度の研究をもとに、学力向上の手立てとして有効な手段を実践し、 総括的評価を行う。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容 <ul style="list-style-type: none"> (1) 英語科における少人数・TT指導の充実 (2) 数学科におけるよりよい少人数指導 (3) 学ぶ集団をつくるための共通実践 (4) 少人数多コースの選択教科を開設して、3年間を見通した選択を実施・検討 ・ 方法 <ul style="list-style-type: none"> (1)(2)は、弱点分析をもとにした授業実践をする。 (3)は、共通実践計画をもとにした研究を行う。 (4)は、アンケートを実施し、検討を行う。
----------------	---

(3) 研究推進体制

<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究推進委員会 ・ 学力向上対策委員会 ・ 全体研修 ・ 部会研修（フロンティア部会・ハートフル部会） 	月1回 学期1回 隔月 隔月
--	-------------------------

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

<p>研究成果として、以下の点が挙げられる。</p> <p>英語科の少人数指導のアンケート（対象 2年生）で次のような結果を得ることができた。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="4">少人数指導が有効であるかどうかについて</td> </tr> <tr> <td style="width: 20%;">平成14年度</td> <td style="width: 10%;">有効</td> <td style="width: 10%;">60%</td> <td style="width: 10%;">有効でない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="width: 10%;">40%</td> </tr> <tr> <td>平成15年度</td> <td>有効</td> <td>64%</td> <td>有効でない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>36%</td> </tr> </table> <p>有効である生徒の具体的な理由について</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">ペアやグループの活動の機会が増えた。</td> <td style="width: 20%;">42%</td> </tr> <tr> <td>自分から進んで発言する機会が増えた。</td> <td>39%</td> </tr> <tr> <td>積極的に授業に取り組めるようになった。</td> <td>36%</td> </tr> <tr> <td>先生から個人的に教えてもらう機会が増えた。</td> <td>31%</td> </tr> <tr> <td>気軽にわからない点を質問できるようになった。</td> <td>23%</td> </tr> </table> <p>現在行っている少人数指導では、1年次のTT指導から、2年次の少人数指導を行っている。そのため、2年生段階でのアンケートをとっている。また、有効であると答えた生徒の理由として、「ペアやグループでの活動が増えた」が42%と授業の形態の変化も好意的にとらえている。さらに、感想には、「英語がわかるようになったので楽しい。」とある。これらのことをふまえて、現在の指導形態は、良好であると判断している。</p> <p>数学科では、週1回のTT指導の限界を感じた。そこで、週1回のTTではなく、週1回の1クラスを2つに分ける少人数を実施した。生徒の戸惑いは予想よりも少なく、1年間通じて行うことができ、かつ有効であった。また、短期間ではあったが、少人数習熟度別で、1クラスを2つに分ける授業を行ったところ、下位の生徒の学習意欲が高まり、その意欲も少人数の指導が終了しても継続している。</p> <p>学ぶ集団づくりでは、学級集団・学年集団づくりが重要である。特に、小集</p>	少人数指導が有効であるかどうかについて				平成14年度	有効	60%	有効でない				40%	平成15年度	有効	64%	有効でない				36%	ペアやグループの活動の機会が増えた。	42%	自分から進んで発言する機会が増えた。	39%	積極的に授業に取り組めるようになった。	36%	先生から個人的に教えてもらう機会が増えた。	31%	気軽にわからない点を質問できるようになった。	23%
少人数指導が有効であるかどうかについて																														
平成14年度	有効	60%	有効でない																											
			40%																											
平成15年度	有効	64%	有効でない																											
			36%																											
ペアやグループの活動の機会が増えた。	42%																													
自分から進んで発言する機会が増えた。	39%																													
積極的に授業に取り組めるようになった。	36%																													
先生から個人的に教えてもらう機会が増えた。	31%																													
気軽にわからない点を質問できるようになった。	23%																													

団学習を取り入れて、その集団を有効に機能させることが大切であることがわかった。

選択教科は、生徒が学習したい内容を選択して学習している。選択幅が大きいため、生徒は興味・関心をもって学習を継続している。

2. 今後の課題

今後の課題として、以下の点が挙げられる。

英語では、対話力やコミュニケーション能力の育成はうまくいっているが、書く力が弱い。そのため、現在の指導体制の中で指導方法の改善を図る。

数学科では、期間別の少人数指導を行うための教材開発が必要である。

学ぶための小集団づくりを学年ごとにどのように組織していくかが課題である。

選択教科の選択プランを自分の特性と関連させたり、自ら選択し、自ら学ぶ姿勢とつなげる。

学力把握のための学校としての取組

生徒の学力向上のための手立て

調査名	目的	内容	時期
学力調査(N R T 5 教科)	指導集団実態把握	前年度学習内容	4月
学力調査(C R T 数英)	指導の検証	本年度学習内容	3学期
学力調査(数単元テスト)	単元の指導と評価	単元の学習内容	単元ごと
学力調査(英readingtest)	reading の指導と評価	学期の学習内容	学期ごと

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

年2回の公開授業を実施

- ・第1回公開授業及び講演会
平成15年10月7日(火) 英語科の各教室での授業公開
教師・保護者対象とした英語科少人数指導の公開と意見交換
- ・第2回公開授業
平成15年10月30日(木) 数学科・理科での授業公開
教師・保護者対象とした数学科・理科 T T 指導の公開と意見交換

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 3学級以下 4～6学級
 7～9学級 10～12学級
 13～15学級 16学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T T による指導
 その他
- 【研究教科】 国語 社会 数学 理科
 外国語 音楽 美術 技術・家庭
 保健体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無